



日本共産党

北区議会議員

のの山けん 区政レポート

http://kyoukita.jp/nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.248 2013.2.6

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

「遊び場」ってなに？

日本共産党北区議員団が「子どもの目線で放課後を考えるつどい」

2日、「子どもの目線で放課後を考えるつどい」（日本共産党北区議員団主催）が、岸町ふれあい館で開かれ、50人を超える方々が参加しました。

最初に、のの山けん区議がスライドを使って基調報告。この4月から本格実施となる放課後子どもプランや、児童クラブ、児童館のあり方についての北区



スライドを使って基調報告をする、のの山けん区議

の方針と今後の課題を提起しました。続いて、北区で長く児童館に勤めた橋木喜久子さんが「児童クラブは生活の場」と題して、30年にわたる指導員としての体験を語り

と自由にしてあげたほうがよいのでは？」
「児童クラブの先生は専門職だからこそ、保護者も安心して預けられる」
「児童と『一体的』に運営する放課後子どもプランはハードルが高くなる。地域の力でやれないことを見越して、無理やり民間委託にもってゆくのがねらいではないか」

「昨年まで放課後子ども教室に携わっていたが、矛盾を感じてスタッフを降りた。やはり専門家でない地域の人がこうした事業に関わるのは問題が多いのではないか」
など、たくさん意見が出されました。

テーブルごとに フリートーク

報告の後、5つのテーブルに分かれて分散会。それぞれのテーブルごとに、党区議団が司会をつとめ、フリートーキングをおこないました。



分散討論の結果をグループごとに発表

「お金」でなく
子どもの目線で

集会の最後に、それぞれのテーブルごとに討論のまとめを発表。

「財政が厳しい」などとして、区の財政的な思惑から児童館を再編し、小学生を利用対象から除外してゆこうとする計画には、厳しい批判の声が寄せられ、「子どもの目線で考えるべきでは」などの意見が相次ぎました。

4年間の議会改革の成果

●北区議会議会改革検討会が、来月に今期の検討まとめ

今年度の議会改革検討会が、来月検討のまとめに入ります。2009年から4年間にわたっておこなわれてきた検討会をふまえ、実現にこぎつけた主な成果を紹介します。(のの山けん)

昨今は、「議会自身特権」という率直な批判もある中、共産党は費用弁償の廃止を求めました。最終的には与党派が5千円を2千円に減額する改正条例を提案、全会派一致で議決しました。

日本共産党が提案した議会資料のデジタル配信も、議会改革検討会の議論を経て実現。配信されるのは、議案、委員会資料、請願・陳情など、ほぼすべての議会資料です。紙ベースでは膨大な

委員会へのパソコン持ち込み

日本共産党北区議員団は、積極的な提案で議会改革を実現してきました。

今や筆記用具として普及しているパソコン。私は本会議場や委員会室へのパソコン持ち込みを提案してきました。

費用弁償を減額

議会に出席するたに旅費・日当として支給される費用弁

現在では、すべての委員会にノートパソコン、タブレット

ト型PC、スマートフォンが持ち込めるようになりました。

議会資料のデジタル配信

日本共産党が提案した議会資料のデジタル配信も、議会改革検討会の議論を経て実現。配信されるのは、議案、委員会資料、請願・陳情など、ほぼすべての議会資料です。

議長2年制の導入

議会を代表する議長は、特に責任が重い役職です。経験や議会としての継続性も重視して、1年制から2年制へと改革しました。

議会基本条例制定へ勉強会

議会運営のルールを定める議会基本条例の制定にむけて、勉強会を1回開催。今期も、4月までに開催する予定です。



北区議会データ検索システムの画面(北区HP)

きらりと光るものづくり顕彰

「きらめき企業部門」5社、「きらめきの技人部門」4氏に

4日、北とぴあ・スカイホールで2012年度の「北区きらりと光るものづくり顕彰式」が開かれました。

今回は、企業部門で5社、技人(わざびと)部門で4氏が選ばれ、区長から顕彰を受けました。



ものづくり顕彰式の様子